

ふるさと探訪

第62回 中山川橋



国道196号の中山川大橋から下流方向へおよそ500mの所に、古い鉄筋コンクリート製の橋があります。昭和3年に完成した「中山川橋」です。

橋長は157.5m、幅員は4.9mで、現在は通行車両の荷重制限がなされており、通行量は限られています。しかし、その高欄や橋脚をよく見ると、80年を超える時間の重みを感じさ

せる風格とともに、「ハイカラ」や「モダン」といった言葉が似合うデザインが施されています。

(社)土木学会では、現存する明治時代から昭和初期に建造された生活基盤施設で、国土や地域の発展に貢献した土木施設を「土木遺産」として、その保存・顕彰活動を行っています。この中山川橋も同学会により「現存する重要な土木構造物2800選」の一つに数えられています。

先人の偉大な発想や、さまざまな苦勞の末に建造され、地域の人たちの生活に大いに役立った中山川橋は、今日も



▲80年有余の時間が過ぎてもその幾何学的デザインは美しく

静かに慣れ親しんだ景色の一部としてたたずんでいます。

